

令和4年度

次世代技術活用人材育成事業のご案内

こんな時に活用ください

開発設計者に必要な基礎知識を学びたい

1

基礎コース

参加無料

マーケティングや製品開発におけるプロジェクトマネジメントなどの開発設計者が身に付けておきたい講座を集めたコースです。

2

自社の技術課題を解決する手法を学びたい

課題解決コース

実費負担

IoTやCAE、分析評価に関連する個々の技術課題をセンター職員と一緒に解決を図ることで、課題解決の手法を修得するコースです。
※基礎コースの受講が必要です。

3

試験機器の使い方や理論を学びたい

技術修得コース

参加無料

センターにある試験機器やIoTツール、CAEを利用するのに必要な知識を実習や座学研修を通じて修得するコースです。

研修スケジュール

コース名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	基礎			■	■								
			6/17応募締切		6/29,7/6の2日間で実施予定								
②	課題解決		■										
			6/17応募締切										
③	機器操作					■		■			■		
技術修得	実習座学												

開催日(予定) : IoT研修(8月~9月:3日間程度)
CAE研修(9月~10月:1日間程度)
その他のテーマも都度開催予定です。

※ 新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、日程、研修内容が変更となる場合がございます。

問合せ：茨城県産業技術イノベーションセンター
技術支援部 IT・マテリアルG 岡田、若生
TEL 029-293-7482 FAX 029-293-8029
it_material2@itic.pref.ibaraki.jp

事業ホームページは
こちらです
⇒



1

基礎コース

参加無料

マーケティングや製品開発におけるプロジェクトマネジメントなどの開発設計者が身に付けておきたい講座を集めたコースです。

こんな時にご活用ください

開発設計者に必要な基礎知識を学びたい

開発設計のリーダーを育てたい

期 間：6月29日(水)、7月6日(水)

2日間に短縮しました

募 集：6月17日(金)まで

開催場所：茨城県産業技術イノベーションセンター

申し込み方法：

研修受講願(裏面)をメールもしくはFAXで下記問い合わせ先までお送りください。

※県内に事業所を有する企業に所属する方を対象としています。(定員20名程度)

	開催日	テーマ	時間(分)	内 容 (何を学ぶか)
開発設計者の基礎知識	6/29(水) 午前	オリエンテーション	10	自己紹介、担当業務紹介など
		①センターの業務紹介	20	産業技術イノベーションセンターの業務紹介など
		②ものづくり企業の現状、自社製品開発の事例	120	企業事例と講義から研究開発の必要性
	6/29(水) 午後	③産学官金連携	60	基金・助成金、共同研究などの活用事例
		④市場とマーケティング	180	マーケティングの講義とグループ討議
	7/6(水) 午前	⑤プロジェクトマネジメント	180	プロジェクトマネジメント手法(理論)とグループ討議
	7/6(水) 午後	⑥製品開発	180	製品開発のステップ(理論)とグループ討議
⑦知的財産		70	研究開発における知財の位置づけ、知財マネジメントなど	

※ 応募者多数の場合は、課題解決コース受講者を優先、1社あたりの受講人数設定などの調整をさせていただきます。

※ 新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、日程、研修内容が変更となる場合がございます。

※ 受講者のうち修了条件を満たす方には、修了証書を交付いたします。

問合せ：茨城県産業技術イノベーションセンター
技術支援部 IT・マテリアルG 岡田、田畑、若生
TEL 029-293-7482 FAX 029-293-8029
it_material2@itic.pref.ibaraki.jp

事業ホームページは
こちらです
⇒



様式第1号

研修受講願

令和 年 月 日

茨城県産業技術イノベーションセンター長 殿

志願者

ふりがな
氏名

所属企業等

住所

企業等名

代表者等名

電話番号

E-Mail

次世代技術活用人材育成事業基礎コース実施要領第2条第1項の規定により、下記のとおり研修受講を申請します。

記

1. 研修の概要

- (1) 研修科目 基礎コース
- (2) 研修場所 茨城県産業技術イノベーションセンター

2. 研修志願者の経歴等

- (1) 企業における所属部署（担当分野）
- (2) 現在従事している業務の内容
- (3) 研修受講の目的

2

課題解決コース

実費負担

IoTやCAE、分析評価に関連する個々の技術課題をセンター職員と一緒に解決を図ることで、課題解決の手法を修得するコースです。
※基礎コースの受講が必要です。

こんな時にご活用ください

自社の技術課題を解決する手法を学びたい

次世代技術を事業に活かせる人材を育てたい

期 間：9月頃～1月頃

(研修担当者と受講者で研修計画書を作成し実施)

募 集：6月17日(金)まで

開催場所：茨城県産業技術イノベーションセンター

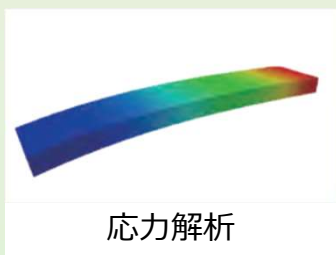
講 師：当センター職員

申し込み方法：

研修受講願(裏面)をメールもしくはFAXで下記問い合わせ先までお送りください。

※県内に事業所を有する企業に所属する方を対象としています。(定員5社程度)

CAE解析コース



応力解析

3DCADを活用した製品設計、CAEによる強度や熱解析等手法の修得

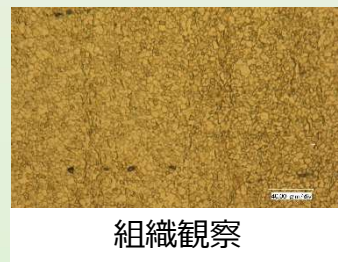
IoT活用コース



工場の見える化

IT・AI・ロボット活用技術やセンサ・マイコン等の組み込み技術等の修得

分析評価コース



組織観察

工業材料や食品の試験評価技術の修得

※試験に必要な消耗品などを実費で負担となります。

※当センターの業務報告や成果集に企業名、テーマ名、参加人数、研修期間を記載して公開いたしますので、予めご了承ください。

※修了後に成果を発表していただきます。

問合せ：茨城県産業技術イノベーションセンター
技術支援部 IT・マテリアルG 岡田、若生
TEL 029-293-7482 FAX 029-293-8029
it_material2@itic.pref.ibaraki.jp

事業ホームページは
こちらです
⇒



様式第1号

研修受講願

令和 年 月 日

茨城県産業技術イノベーションセンター長 殿

志願者

ふりがな
氏名

所属企業等

住所
企業等名
代表者等名
電話番号
E-Mail

次世代技術活用人材育成事業課題解決コース実施要領第3条第1項の規定により、関係書類を添えて研修受講を申請します。

記

- 希望する研修内容に関連する分野
 CAE解析 IoT活用 分析評価
- 研修志願者の経歴等
 - 企業における所属部署（担当分野）
 - 現在従事している業務の内容
- 希望する研修内容
 - 研修テーマ
 - 背景と目的
（企業の技術的課題とその解決）
 - 具体的な研修事項
（どのような技術分野か、新規に修得したいのか、技術向上を図りたいのか）
- 関係書類
 - 誓約書（様式第2号）

3

技術修得コース

参加無料

センターにある試験機器やIoTツール、CAEを利用するのに必要な知識を実習や座学研修を通じて修得するコースです。

こんな時にご活用ください

試験機器の使い方や理論を学びたい

実習や座学を通じてツールの使い方を学びたい

募集：開催時期に合わせて随時募集

開催場所：茨城県産業技術イノベーションセンター

申し込み方法：

研修受講願、誓約書、エントリーシート（裏面）をメールもしくはFAXで下記問い合わせ先までお送りください。

※県内に事業所を有する企業に所属する方を対象としています。

機器研修



万能試験機

材料の引張強度（応力）、耐力、圧縮荷重、ひずみなどの機械的特性を測定できます。

その他の試験機については、裏面をご覧ください。

実習座学



IoT研修：Raspberry Piの開発実習

Raspberry PiなどのIoTツールの開発手順に関する実習形式の研修です。

開催時期は、別途ご案内いたします。CAE、その他の研修も開催予定です。

コース名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
機器操作					■		■			■		
	開催時期に合わせて募集				機器操作研修を都度開催（年3回実施予定）							
実習座学					開催日（予定）：IoT研修（8月～9月：3日間程度） CAE研修（9月～10月：1日間程度） その他のテーマも都度開催予定です。							
	開催時期に合わせて募集											

※ 必要な機器研修がございましたら、随時ご利用ください。

※ 新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、日程、研修内容が変更となる場合がございます。

問合せ：茨城県産業技術イノベーションセンター
技術支援部 IT・マテリアルG 岡田、沖島、若生
TEL 029-293-7482 FAX 029-293-8029
it_material2@itic.pref.ibaraki.jp

事業ホームページは
こちらです
⇒



技術修得コースエントリーシート

会社名			代表者名			
所在地	〒					
フリガナ						
希望者名						
連絡先	TEL			FAX		
	E-Mail					

下表の対象機器から、希望する実施日をご記入ください。

コース名	本所（茨城町）	実施日	希望日	コース名	繊維高分子研究所（結城市）	実施日	希望日
① 計測機器・材料試験・産業用ロボット	・万能試験機（主に金属用）	7/13, 9/28, 12/7		④ 射出成形機 ⑤ 耐熱試験・材料試験	ホールガゼメント コンピューター制御機	8/8, 10/4	
	・硬さ試験機				風合い試験機	12/13, 1/17	
	・金属顕微鏡				小型レピア試験機	10/24-26	
	・スガ摩耗試験機				通気度試験機	8/25, 10/20	
	・残留応力測定装置	7/14, 9/29, 12/8			分光測色計	9/29, 12/22	
	・三次元測定機	7/27, 10/13, 12/15			接触角	8/3, 10/12	
	・表面粗さ輪郭形状測定機				メルトインデクサ		
	・3Dプリンタ				万能試験機	9/13, 11/20, 12/8	
	・三次元デジタルマイザ				射出成形機	10/6, 11/10, 12/1	
	・産業用ロボット安全特別教育（学科、実技両方）	9月以降			プレス成形機	9/15, 11/8	
② 分析機器・性能試験	・卓上SEM	8/17, 10/31, 12/12		自動研磨機（樹脂系）	8/4, 10/13		
	・走査型電子顕微鏡			切断機			
	・蛍光エックス線分析装置（エネルギー分散型）	9/30, 10/28, 12/6		マイクローム			
	・微粉碎試験機（マスコロイダー）	9/15-16, 10/13-14 12/13-14		デジタルマイクロスコープ			
	・真空凍結乾燥機	9/30, 10/28, 12/6		電子顕微鏡	8/2, 10/11		
	・高温高圧調理減菌機	8/23, 10/26, 12/21		万能振り子式衝撃試験機			
	・赤外分光光度計	7/27, 10/26, 12/21		破断観察装置（高速度カメラ）	9/14, 11/17		
	・分光光度計			熱分析			
	・ガス透過率測定機			赤外分光光度計			
	・炭素窒素分析装置	7/20, 10/19, 12/14					
・ICP発光分析装置	7/29, 10/5, 12/14						
・走査型プローブ顕微鏡							
・卓上型塩水噴霧試験機							
③ EMI機器 宇宙関連試験機器	・RFイミュニティ機器	7/4, 9/12, 12/5		⑥ 分析機器	・蛍光エックス線分析装置（波長分散型）	7/13, 10/27, 12/22	
	・EMI機器			・エックス線回折装置	7/27, 10/6, 12/8		
	・耐ノイズ試験機			・熱分析装置	8/3, 10/13, 12/15		
	・電磁界可視化装置						
	・通信環境評価装置						

※エントリーシート1枚で1名様分のご応募が可能です。研修機器は複数選択可能です。
 ※原則、上記実施日に開催となりますが、ご都合が合わない場合はご相談ください。
 ※ご記入いただいた情報は、産業技術イノベーションセンター内で適切に管理し、当事業に限定して利用します。
 ※このシート受取り後に、担当グループから折り返しご連絡差し上げます。
 ※機器の詳細については、当センターのホームページをご参照ください (<http://www.itic.pref.ibaraki.jp/index.html>)
 ※産業用ロボット安全特別教育は、応募者多数の場合、人数を調整させていただきます。